

第247回 教育研究評議会議事要録

日 時 令和7年3月26日（水）15時00分～15時35分
場 所 甲府キャンパス大学本部棟第1会議室

出席者

（評議員）中村学長、黒澤・奥田・片田・市川・小林 各理事
服部・小泉・中山・岸上 各学域長、幸田附属図書館長
田中・大塚・谷口・郷・武井・大山・石平・飯山 各教授
（列席者）長谷川・井上・小谷・島 各学長補佐、小俣・數野 各監事
志村・土屋・深澤・雨宮・望月・石原 各部長
永倉・植村・齊藤・岩元・白澤・大坂・笹原・大森 各課長

議事要録確認

第246回教育研究評議会（R7.2.25開催）議事要録を確認した。

報告事項

- 1 「100円ごはん」事業への企業協賛について
奥田理事から、資料1により、昨年度から学生サービスの一環として実施している「100円ごはん」事業について、株式会社早野組から協賛の提案があったことの報告があった。
- 2 学生の懲戒について
奥田理事から、資料2（回収資料）により、工学部専門科目の期末試験において不正行為を行った学生に対し、全学学生委員会において審議し、1ヶ月の停学処分申し渡しを行ったことについて報告があった。奥田理事及び中山工学域長から、後期分の単位は不認定になるが、実習など成績判定が試験でない単位については認めることの補足説明があった。
中村学長から、不正行為等の処分に関して、学部間で差がないよう全学的に統一した対応になっているのか確認するよう指示があった。
- 3 地域活性化人材育成事業～SPARC～外部評価について
黒澤理事から、資料3により、標記評価結果及び改善に向けた対応等について報告があった。
- 4 教育の内部質保証に関する自己点検・評価結果について
黒澤理事から、資料4により、全学教育内部質保証委員会において、教育の内部質保証（教育環境）の自己点検・評価を実施し、前回点検以降も改善に向けた取組が継続的に行われており、本学の内部質保証システムの機能が維持されていると評価されたことの報告があった。
- 5 教員の採用報告について
片田理事から、資料5により、教員の採用（1名）を行ったことについて報告があった。
- 6 令和7年度役員・役職予定者について
片田理事から、資料6により、令和7年3月31日付けで期間満了となる役職者の後任（新任者・再任者）等について報告があった。

7 令和6年度施設利用実態調査の結果について

市川理事から、資料7により、標記調査結果より、概ね有効に使用されていることが示されたが、C（有効活用上大いに改善の余地がある）・D（使用の中止や見直しが必要である）評価とされた部屋（15室）については、令和7年度に再調査を行い、改善がみられる場合に継続使用を許可することの報告があった。

審議事項

1 教学管理方針の一部改正（案）について

奥田理事から、資料8により、令和7年度からの全学共通教育科目の改革に伴い、標記方針について、全体的な見直しを行い、より理解しやすく適切な表現になるよう改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

2 学士課程及び大学院におけるポリシーの一部改正（案）について

奥田理事から、資料9により、令和7年度からの全学共通教育科目の改革及び科目の改廃等に伴い、全学及び関係学部・大学院のディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 大学院奨学金返還免除候補者の推薦等に関する規程（案）の一部改正について

奥田理事から、資料10により、日本学生支援機構第一種貸与奨学金における標記候補者の推薦に係る制度の変更等（授業料後払い制度）に伴い、関係する規程を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

授業料については、必ず後払いにしなければならないのか及び申請人数の実績について質問があり、奥田理事から確認後に改めて回答する旨の発言があった。

4 国際交流に関する各種様式の変更に伴う規程の一部改正（案）について

奥田理事から、資料11により、学生受入れ及び支援金の手続き等に係る様式を変更すること及び手続きに必要な様式に係る内容に関しては規程から内規に変更するため、関係規程を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

5 令和6年度 学内研究プロジェクトの採択（案）について

奥田理事から、資料12（回収資料）により、標記プロジェクト（2件）を採択する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 寄附講座の更新（案）について

市川理事から、資料13により、山梨県の医療提供体制の向上に寄与するため継続設置している生殖医療学・周産期医療学講座及びパワー半導体デバイス分野の研究促進と研究者の育成を行う富士電機パワーデバイス講座の2つの寄附講座について、設置期間の延長等に関する合意書を締結する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 履修証明プログラムに関する規則の一部改正（案）について

黒澤理事から、資料14により、特別支援教育に係る履修証明プログラムについて、新規開設に関する申請様式を設けることに伴い、標記規則を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

8 「山梨血小板研究センター」の設置等（案）について

黒澤理事から、資料 15 により、医学域に新たに「山梨血小板研究センター」を設置すること、及び地域医療の向上や医療安全の推進等を継続して実施するため、CST センターの認定期間を更新（5 年間）すること、併せて基本規則を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

標記センターの認知度を高めるために、地域社会向けにセンターの概要をまとめたプレスリリースを行った方が良いのではないかという意見があり、内容についてセンター長である井上学長補佐が検討し、プレスリリースを行うこととした。

9 事務体制の見直し（組織改編等）（案）について

片田理事から、資料 16 により、法人運営体制や教育研究支援体制の強化を図るため、事務体制の見直し（組織改編等）を行うこと及び役職定年者を活用した新たな制度として有期雇用の副理事及び特命参事のポストを設けたい旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

10 特命教授の称号授与候補者（案）について

片田理事から、資料 17（回収資料）により、水素・燃料電池ナノ材料研究センター長から推薦があったため、特命教授の称号を授与することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

11 令和 7 年度当初予算（案）について

市川理事及び種田財務部長から、資料 18 により、標記予算について説明があり、審議の結果、これを承認した。

12 施設マネジメントの見直し等（案）について

市川理事から、資料 19 により、研究力の強化や教育の質の向上に向け、既存スペースを見直し、スペースの創出を図るとともに、老朽施設や空調設備等の整備を進めるため、プロジェクトスペースのチャージ料を増額すること、併せて関係規程を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

13 大学管理スペースの使用許可（案）について

市川理事から、資料 20 により、標記使用許可（229 件）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

その他

- ・中村学長から、机上資料により、来年度からの教育研究評議会出席者の変更について説明があった。
- ・片田委員から、今年度をもって退任するにあたり挨拶があった。
- ・中村学長から、令和 7 年度の教育研究評議会の開催日程について説明があった。

※ 今回は、令和 7 年 4 月 22 日（火）15 時 00 分から開催することを確認した。